

新しい研修様式

－Web研修の実施と今後－

社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団 世田谷区福祉人材育成・研修センター

枝 孝治

(Web研修 質の向上 社会的地位向上)

1. はじめに

世田谷区福祉人材育成・研修センターは、令和2年4月に新しく開設した世田谷区立保健医療福祉総合プラザに成城から移転した。移転後まもなく、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令され、集合研修が難しくなり、従来の研修方式をいち早く見直し、Web研修を導入した。また、令和3年度から研修室はワクチン接種会場となり、使用できない状況となった。コロナ禍でも安心・安全で質の高い研修を実施するために取り組んだ内容と、今後の課題や方向性について報告する。

2. 取り組み内容と結果

(1) 令和2年度実績

年間研修数	82本	集合研修 2本 Web研修 80本 (内訳: 動画視聴 47本 Zoom25本 Zoom+動画 7本 集合+動画 1本)		
年間研修日数	125日	(年間受講者数 4,277人/令和元年度 2,161人)		
集合研修 受講者数	52人/平均 26人			
動画視聴 受講者数	3,178人/平均 67.6人	Zoom+動画視聴	203人/平均 29人	
Zoom 受講者数	801人/平均 32人	集合+動画視聴	43人/平均 43人	

視聴回数の多かった研修

研修名	視聴回数	平均 (回)	研修名	視聴回数	平均 (回)
感染症対策 (公開)	2017	10.5	認知症(医学的知識)	795	6.0
人権の理解	1008	5.9	高齢障害者の支援	761	5.8
障害福祉の理解	936	7.2	認知症希望条例	735	12.5
認知症(チームケア)	808	12.2	高次脳機能障害	638	3.8

Web研修受講者の声 (研修後アンケートより)

Web研修のメリット	%
会場に行く必要がない	81.0
自分のペースで学習できる	78.8
時間を有効に使える	78.4
スケジュール調整がしやすい	73.3
繰り返し学習できる	62.2
感染リスクがなく、安心して受講できる	2.1



令和2年度でWeb研修により、令和元年度と比較して受講者が大幅に増えた研修

- 人権の理解「職員の虐待防止と職員のハラスメント防止」・・・ 220人 申し込み/9.6倍
- 障害福祉の理解「精神障害の理解と支援」・・・・・・・・・・・・ 201人 申し込み/4.1倍
- 認知症ケア研修「医学視点からの理解と支援」・・・・・・・・・・・・ 178人 申し込み/2.7倍

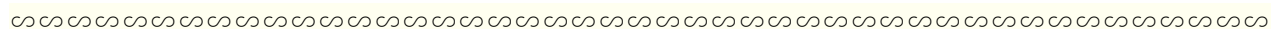
(2) 令和3年度実績 (予定含)

年間研修数	95本	集合研修 1本 Web研修 94本 (内訳：動画視聴 52本 Zoom27本 Zoom+動画 13本 集合+動画 2本)
-------	-----	---

3. 考察と今後の課題

Web研修のメリットは、通常の業務にさほど影響することなく時間を有効に使い、繰り返し学べるなどの利点があり、受講生から大変好評である。一方、グループワークや実技研修などは、Web上での開催に限界があるのも事実である。Zoom研修でグループワークを行っているが、受講者のパソコン技術や、インターネット環境の問題により不安定な部分がある。Zoom活用の習熟度を上げるため「Zoom初めてレッスン」を定期的に開催しているが、更なる受講者のWeb研修に対する技術向上や、ネット環境を整えていく必要もある。今後は新型コロナウイルス感染症が終息しても、Web研修と集合研修の双方の良いところを取り入れ、実施していく。

福祉人材育成・研修センターは、福祉の理解促進に努め、福祉人材の確保や効果的・効率的な研修を実施し、サービスの質の向上に向け研修内容を充実させ、事業者にとって信頼される研修センターとなるように取り組み、引き続き福祉従事者の社会的地位向上に取り組んでいく。



<助言者コメント>

牧野 まゆみ (NHK学園高等学校教諭)



新型コロナウイルス感染拡大により、私たちの生活様式は大きく変化せざるを得なくなりました。世田谷区福祉人材育成・研修センターでは、このような社会情勢の変化にいち早く対応すべく、Web研修を先駆的に取り入れました。動画による発表を視聴しましたが、世田谷福祉人材育成・研修センターの目的から研修内容、今後の課題などパワーポイントを活用してわかりやすく解説されたことは興味深く、Web研修の導入を含め大変高く評価できます。

昨年、研修センターでは82本の研修を実施し集合研修は2本のみでした。受講者は大幅に増加し、研修受講者のアンケートを見ても好意的に受け止められています。令和元年度に比べて昨年度に大幅に受講者が増えた研修が「職員の虐待防止と職員のハラスメント防止」という人権の理解であったことは特筆すべきことであり、医学・保健分野の受講が多かったことも時代を反映しています。大幅に受講者が増加したのは、Web研修受講者の声からも「会場に行かなくても良い」「自分のペースで学べる」「感染リスクがなく、安心して受講できる」というWeb研修ならではの利点とあって良いでしょう。もちろん、「グループワークが難しい」「受講者とのやり取りがない」などのデメリットもありますが、Webを活用した研修方式はコロナ禍が終息しても有力な研修ツールとして定着するでしょう。

今後の課題は、受講者のZoom活用の習熟度の向上を含めてインターネット環境を整えることが必須です。その面での福祉人材育成・研修センターの貢献を期待します。また公開講座を拡充し区民に広く周知し視聴者の増大を図り、福祉・人材の育成や理解促進に繋げていただきたいと思います。

今後のより一層のご活躍を期待しています。